

畜産草地研究所3学会より感謝状贈呈

畜産草地研究所は日本家禽学会、日本草地学会及び日本養豚学会からそれぞれの記念大会において感謝状を贈呈されました。

日本家禽学会は昭和29年万国家禽学会日本支部として発足した後、昭和34年日本万国家禽学会として独立するとともに、独自の学会誌の刊行を開始し、昭和41年に現在の名称となりました。本年は創立50周年にあたることから、その記念式典が9月26日に広島大学で開催されました。畜産草地研究所には学会設立当初から学会事務局がおかれ、学会の運営に協力してきました。記念式典では、当所など3団体に対して感謝状が贈呈されたのち、横内所長が代表して挨拶を述べました。

また、日本草地学会は昭和29年日本草地研究会として農林省農業改良局研究部内に事務局を置いて発足し、昭和36年日本草地学会へ移行するに当たり事務局は畜産試験場内に移りました。昭和43

年、学会事務局は那須に設置された畜産試験場草地部内へ移り、その後、草地試験場、畜産草地研究所（那須）と継承して、現在に至っています。3月25日広島大会の50周年記念式典においては、畜産草地研究所の学会への貢献に対して感謝状が贈呈され、清水副所長が拝受しました。

一方、日本養豚学会は昭和39年日本養豚研究会として発足し、昭和62年に日本養豚学会に発展・改組しました。平成4年から畜産試験場内に学会誌の編集事務局をおき、学会の運営に協力してきたことに対して、3月26日創立40周年記念式典において感謝状が贈呈され、横内所長が拝受しました。

学会は研究成果の公表や情報交換を行う場として重要であり、これからも研究活動の一環として関連する学会の運営に協力していきます。

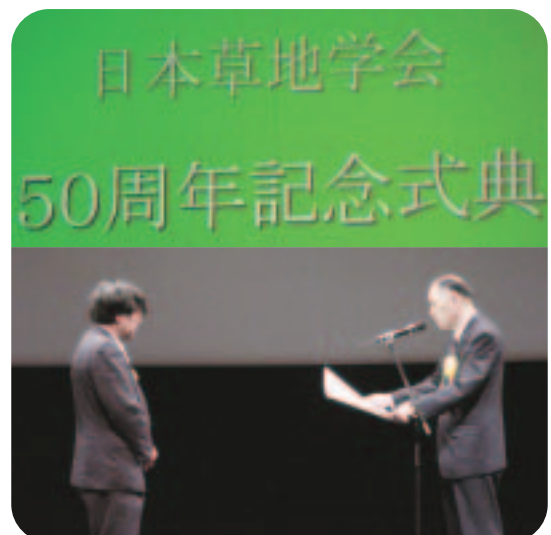
（企画調整部 研究調整官 古川 力）



日本家禽学会創立50周年記念大会において
冒頭・挨拶を述べる横内所長



日本養豚学会創立40周年記念式典において
感謝状を拝受する横内所長



日本草地学会50周年記念式典において
感謝状を拝受する清水副所長